

横浜市の2027年国際園芸博覧会の開催申請が承認されました！

横浜市では、平成27年6月に米軍から返還された旧上瀬谷通信施設（242ha）において、都市基盤整備の促進、地域の知名度やイメージの向上、さらには国内外の先導的なまちづくりに寄与するため、国際園芸博覧会の招致を推進しています。

9月9日に北京で開催された「国際園芸家協会（AIPH）」年次総会において、横浜市として2027年国際園芸博覧会の開催申請を行い、承認されました。

今後、政府サポートレター*の送付により、正式にAIPHの国際園芸博覧会（A1クラス）として位置づけられることとなります。

引き続き、国際園芸博覧会の開催に向け、政府をはじめとする関係機関との連携に努めてまいります。

※国際園芸博覧会規則に定めるA1クラスの博覧会にのみ求められる書類で、当該国の政府の支持に関する確認書

1 2027年国際園芸博覧会の開催申請



2 申請内容

(1) 概要

- 名称 : 2027年国際園芸博覧会 日本国 横浜市
- クラス : A1
- 開催場所 : 横浜市 旭区・瀬谷区 旧上瀬谷通信施設地区
- 開催期間 : 2027年3月～2027年9月
- 入場者数(見込み) : 来場者数 1,500万人以上
有料入場者数 1,000万人以上
- メインテーマ : 幸せを創る明日の風景
Scenery of The Future for Happiness

■日本・横浜・上瀬谷の魅力と活力を発信する要素



◆申請書については、以下のウェブサイトをご覧ください。

URL : <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/shochi/top.html#application>

裏面あり

(2) 事業展開のイメージ

事業展開にあたっては、横浜・上瀬谷の魅力や活力を象徴し、多くの人を楽しめる内容を考慮して「花」「緑」「農」「食」「大地」「交流」の6つの要素を設定し、それらの要素を具現化する5つの事業展開をイメージしています。

■グリーンインフラ ～グリーンシティを支える計画・技術の提案～



■ランドスケープ・アドベンチャー ～リアルとバーチャルによる世界の園芸空間～



■横浜農場とワールドマルシェ ～次世代農業と食文化体験～



■先端技術展示 ～自然の神秘、未来の可能性～



■日本の原産種と園芸文化 ～日本と世界の文化芸術交流～



【参考1】国際園芸博覧会

国際的な園芸・造園の振興や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決への貢献を目的に開催される博覧会。横浜市が目指しているのは国家的プロジェクトとなる博覧会（A1クラス）で、国内では1990年に大阪で開催された「国際花と緑の博覧会（花の万博）」がある。

【参考2】国際園芸家協会（AIPH: International Association of Horticultural Producers）

国際的な非営利組織で、国際園芸博覧会の承認を行う主体。日本では一般社団法人日本造園建設業協会が会員。

◆国際園芸博覧会の詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

URL : <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/shochi/>

お問合せ先

政策局国際園芸博覧会招致推進課長 池上 省吾 Tel 045-671-4625